

会 議 録

会 議 の 名 称	令和3年度第2回行田市総合教育会議
開 催 日 時	令和3年7月12日（月） 開会：午後3時　閉会：午後4時05分
開 催 場 所	行田市産業文化会館　2階　2A・2B会議室
出席者（委員） 氏 名	石井直彦市長、齋藤操教育長、岸田昌久委員、 鹿山高彦委員、飯塚千十世委員、大澤恵子委員
欠席者（委員） 氏 名	なし
事 務 局	石川副市長 学校教育部：吉田学校教育部長、安藤学校教育部次長兼学校教育部長 長島教育総務課長、上野教育総務課主幹 総合政策部：渡邊総合政策部長、鴨田総合政策部次長兼秘書課長、 島田企画政策課長、柿沼企画政策課主幹、 高梨企画政策課主事
会 議 内 容	・議事 （1）学力向上の取組みについて ・報告 （2）GIGAスクール構想の実現に向けた進捗状況について ・その他
会 議 資 料	・会議次第 ・総合教育会議構成員名簿 ・資料1：全国・埼玉県学力・学習状況調査結果（3ヵ年分） ・資料2：行田市教育委員会「学力向上プラン」の推進 ・資料3：学力向上支援教員の取組 ・資料4：英語検定補助事業の取組 ・資料5：学力向上の取組について ・資料6：GIGAスクール構想の実現にむけた進捗状況について
そ の 他 必 要 事 項	傍聴者　3名

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会	1 開会 2 市長あいさつ 3 議事
司 会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第の「3 議事」に入る前に、会議の公開・非公開に関する取扱いについて確認させていただく。本日の会議は、議事の中で個人情報を取り扱う予定がないことから、原則公開とさせていただく。また、会議録の作成は要点筆記とし、委員名を明記の上、市政情報コーナー及び市ホームページにおいて公開させていただく。</li> <li>・それでは、本日の「議事」に入る。進行については、要綱第4条第1項の規定により、会議の議長は市長が務めることとなっていることから、ここからは石井市長に議事の進行をお願いします。</li> </ul>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは、暫時、議長を務めさせていただく。</li> <li>・はじめに、議事の「学力向上の取組みについて」について、事務局から説明をお願いします。</li> </ul>
事 務 局	<資料1～資料5により説明>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月1日より教育長に就任した齋藤教育長より、自身の教育への考え方及び今後の方針を聞かせてもらいたい。</li> </ul>
教 育 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私の教育への考え方として、学力とは数字に表れるもののほか、技術、技能、表現なども含まれるものと考えている。また、私個人として他者への思いやりや正義感、共同協力の精神を養うことも心の学力として必要と捉えている。</li> <li>・資料1の正答率が学力のすべてではないが、重要な指標である。埼玉県学力・学習状況調査の国語の正答率において平成30年の行田市の小学校4年生の正答率は63.3%、埼玉県平均は62.0%であり、プラス1.3%となっている。しかし、この子どもたちが小学校5年生に進級した翌年の令和元年は、行田市の正答率は52.8%、埼玉県平均は52.3%であり、プラス0.5、更に翌年、令和2年の小学校6年生においては行田市の正答率は58.1%、埼玉県平均は58.8%のマイナス0.7%となっている。</li> <li>・このように、行田市と埼玉県平均の正答率に前年より改善が見られたのは、令和元年度の中学校1年生・中学校3年生の算数・数学のみであり、その他において改善はみられない。</li> <li>・このような結果となったことに行田市の教育に携わってきた者として、市民や保護者の皆様、子どもたちへお詫び申し上げたい。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私は教育長として、これからの行田市の学力向上に重大な責任を持っていることを自覚している。そのうえで資料5にもある、教育委員会・学校等、教育機関の創意を生かした取組みとして、現状を多面的・多角的な角度から徹底分析し、創意工夫を凝らし、教育の改善を行う所存である。</li> <li>・その方策の一つ目として、教育委員会内に学力向上のプロジェクトチームを設立し、既に指示を出しているが、現状の分析及び改善を始めている。</li> <li>・二つ目として、各校の良い取組を積極的に発信して、学びだけでなく、競争の意識も生み出したいと考えている。</li> <li>・三つ目として、教育委員会と学校の連携強化のため、指導主事の活用を通じて学校との共同体制を確立していく。</li> <li>・次に行田教育の良さの継承と発展させる取組みとして、行田教育のルネサンスと情報教育への対応を行う。平成22年の中学校の学力調査では、行田市の平均は県の平均を1.2%上回っていた。10年前は県平均を上回っていたが、なぜ近年において下回るようになったのかを検証し原因を分析する。また、第2次ベビーブームの子どもたちを教育するため、大量採用された教員がここ10年で退職となっている。この教員の穴を埋めるため、新たな教員が大量採用され、教員の若返りがなされたが、教員の指導力を含めた行田の教育文化の継承がなされなかったと考えている。そこで、若手教員の指導力の向上を図る研修の推進や授業力向上研修を今年度より実施している。ICTの効果的な活用についても、今後重要となることから、こちらについても研修を進めていく。</li> <li>・最後にラーニング・ザ・トップを推進し、良い施策などは近隣市町村より学び、学習指導においては筑波大学附属小中学校や埼玉大学附属小中学校などのトップから学び、できればトップを越えられるよう取り組む。特に指導主事には、このような学びを積極的に行い、各学校へ伝えていただきたい。また、保護者の皆様には学校に全てを任せる教育の消費者ではなく、教育の参加者としての意識を持っていただき、様々な地域での体験やお祭りなどのふれあいの場に参加していただき、共に子どもたちの豊かな心を育てていただきたい。</li> </ul>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次に教育委員の皆さんのご意見をお聞かせいただきたい。</li> </ul>
岸田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先程の教育長からの学力向上のための所信をお聞きし、共に子どもたちのため、取り組んでいきたい。</li> <li>・資料1について、埼玉県平均に対して行田市の多くが下回っているが、令和2年の学力調査を実施したのは、令和2年の6月であ</li> </ul>

<p>鹿山委員</p> <p>議長</p> <p>飯塚委員</p> <p>大澤委員</p> <p>岸田委員</p>	<p>る。令和2年3月から新型コロナウイルス感染症が拡大し、緊急事態宣言が4月に発令された。このため3月から5月までは授業も満足に行えていない。このような状況下で、学力調査を辞退する市町村も多々ある中、果敢にも学力調査に挑んだことは評価したい。結果はあまり芳しくはなかったが、ここで挑戦した結果が、令和3年度の埼玉県学力調査にどう影響してくるのか非常に楽しみである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1によると埼玉県平均と行田市平均は小学生に比べ、中学生に上がると差が大きくなる傾向がある。現在、行田市には学力向上支援教員が小学3年生から中学3年生まで配置されているが、指導員の配分はどのようになっているのか。当然、小学校の勉強に比べ、中学校の勉強の方が難しく、つまり子どもが多い。必ずしも指導員の配置数だけの問題ではないが、勉強の難易度にあわせ学力向上支援教員の配置数を変えるなどしているのか。</li> <li>・学力向上支援教員の配置は、何人と決めて割振りは行っておらず、学校別の状況を踏まえた上で対応いただいている。</li> <li>・子どもたちの学習時間において学校での授業の時間が最も多い。塾や通信教育だけに頼るのではなく、学力向上の取組みによる、魅力的な授業や生徒への個別対応を通じて、子どもたちが自主的に学習するきっかけとなることを期待している。</li> <li>・行田市の学力は県平均と比較して下回っている学年が多いとのことだが、現在、学力向上支援教員をはじめ、様々な支援が子どもたちに行われており、支援内容についても様々な視点から日々改善が行われている。この取組みが結果に表れるまでには時間を要するため、引き続き教育に携わる者が連携しながら学力向上の取組みを実践していくべきである。</li> <li>・資料4の英語検定補助事業の取組について、子どもたちにこのような機会に挑戦していただき、資格取得という成果を通じて、更に勉強に励むきっかけになればよいと考える。</li> <li>・以前は教育研究会という教員の勉強会があり、近隣の学校へ視察する機会が多く存在していた。そのような機会を通じてトップクラスの教育を行う学校との差を痛感させられ悔しい思いをしたこともあったが、現在は教員がそのような刺激を受ける機会が少ない。研究発表も校長や教科主任など僅かな教員だけしか参加していない。各校の研究発表や視察の機会を増やし、教員同士がライ</li> </ul>
---	---

<p>議長</p>	<p>バル心を持って互いに切磋琢磨できる環境ができればよいと感じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上支援教員の取組は、市長のマニフェストである複数担任制と志を同じくするものであり、きめ細やかな授業を通じて学力向上に繋げてほしい。</li> <li>・子どもたちが静かに授業を受ける良好な学びの環境づくりを生活指導教員に期待している。ただし、学びの環境は小学校低学年だけではなく、小学校中・高学年、中学校においても重要である。</li> <li>・補習学習指導教員の取組は、学力の低い子どもの学力の底上げだけではなく、学力の低い子どもを取り残さないという心のつながりを形成する大切な機会でもある。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私は行田市の教育に満足しておらず、子どもたちのためにできることはまだあると考えている。今回の学力向上の取組みを着実に進めていただき、成果として結果が表れることを期待している。</li> <li>・一つの取組だけに力を注ぐのではなく、各取組を複合的に実施することで効果が発揮されるものであるため、委員の皆様には引き続き事業を推進していただきたい。</li> </ul>
<p>大澤委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料2の②授業の質の向上（うきしろスタンダードの実践）という取り組みはどのようなものか。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どこの学校のどの先生であっても統一の授業形式を確保するため、板書方法や授業の進め方を定めたものである。</li> </ul>
<p>議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次に、次第の「4 報告」に入る。「GIGA スクール構想の実現に向けた進捗状況」について事務局より報告をお願いします。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<p style="text-align: center;">＜資料6により説明＞</p>
<p>議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以上の報告について何かあるか。</li> </ul>
<p>岸田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季休暇の期間は授業がないため、教員たちにはこの期間をうまく使って研修などに参加していただき、子どもたちの学力向上のため自己研鑽に励んでほしい。</li> </ul>
<p>議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GIGA スクール構想では、子どもたちに教える教員が端末やその機能を使いこなせるのは当然であり、夏季休暇期間の研修を通じて使用方法などを習得していただきたい。</li> </ul>

議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教員や子どもたちが ICT 機器を使いこなせるようになれば、従来の学習と比較し、様々な取り組みが行えることから、一日でも早い GIGA スクールに関する環境整備を進めてほしい。</li> </ul>
教 育 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次に、次第の「5 その他」に入る。教育長から学校再編成について何かあれば一言お願いします。</li> </ul>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校再編成については、現在の見沼中学校区への義務教育学校設立については白紙に戻ったものと認識している。北河原小学校、荒木小学校、須加小学校については、議会へ条例案を提出する予定であることから、この場での発言は控えさせていただく。</li> <li>・ それ以降の再編については、新たにプロジェクトチームを立ち上げ、多方面から検討の上、市公立学校通学区域等審議会に原案を提出し、ご意見を賜る予定である。</li> </ul>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校統廃合について、複式学級は解消するべきであると考えている。子どもたちにとってより良い学校編成となることを期待している。</li> </ul>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ その他、教育委員の皆様から何かあればお願いします</li> </ul>
議 長	<p style="text-align: center;">＜特になし＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ それでは、これにて議事を終了する。教育委員の皆様には、スムーズな議事進行にご協力賜り、感謝申し上げます。</li> <li>・ それでは、これをもって議長の職を解かせていただき、事務局に進行をお返しする。</li> </ul>
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 以上をもって、令和 3 年度第 2 回行田市総合教育会議を閉会とする。</li> </ul> <p style="text-align: center;">＜閉 会＞</p>